

ハーモニー だよ



第89号

令和2年9月1日発行

医療法人 明医研 広報誌



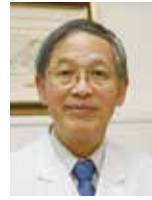
医療法人
明医研



WARM & RELIABLE

緑 区 ハーモニークリニック
れんけい訪問看護ステーション
明(めい)サポートヘルパーステーション
南 区 デュエット内科クリニック
ケアメイト訪問看護ステーション
中央区 アトリオ訪問看護ステーション

『明医研が目指す新路線』 中井秀一 新院長 就任おめでとう



医療法人 明医研
理事長 中井 晴 幸

前号(第88号)のハーモニーだよりの中で中井先生が「明医研の在宅医療」を精細に紹介してくれています。大変細かい内容をまとめていただき、有り難うございました。振り返って参考にされる方々には、大変お役に立つことと存じます。また8月初めには、前院長(小生)から中井新院長への連絡が順調に行われ、記録されています。

明医研の在宅医療に関する健康講座について中井新院長が記述した内容は、他の通常の病院診療の記載内容の追隨を許さないものです。我々は、外来診療とも一貫性を持ち、訪問看護とも薬局機能とも連絡を密にし、どのような疾患についても、多職種で細かく積極的に関わりあっています。明医研の在宅医療として、常に皆様にとって最適な医療環境の提供を実践してゆきたいと考えています。

明医研が現在のさいたま市緑区松木に開設されたのは平成7年8月7日、今年で25年になります。ハーモニークリニック開院

以来の私たちの目標は、地域の方々の相談に広く応じて、お役に立ちたい、ということでした。お役に立つ上での大切な点は、病院では提供が困難な医療は何かを考えて、在宅での医療を安全に提供できることでした。今もそれには変わりがありません。

地域の皆さんにお役に立つ上で、私が過去に技術を磨いていた術式には、幸い中井先生も、デュエット内科の大和先生も精通しており、いずれの外来診療においても安全かつ有力な状態改善の手法が選択可能になっております。

新院長を新しい中心として、医師、看護師を始め、全ての職員が助け合う力を結集して、新しい年の区切りを有意義に過ごし、実績を積んでまいりたいと思います。



ハーモニークリニック

『思いを受け継ぎ、次代に臨む』



ハーモニークリニック
院長 中井 秀 一

8月7日よりハーモニークリニック院長を拝命しました。私の院長としての大きな役割の1つは、中根理事長が築いた温かく信頼にかなう医療とケアを提供する地域の診療所としてのハーモニークリニックをしっかりと引き継ぎ、継続していくことです。地域の皆様を中心に、我々が輪を成し、調和(ハーモニー)を大切にしていきたいと思っています。

もう1つは、変わりゆく時代、情勢に合わせて医療、介護、地域健康増進、教育などの方針について議論を尽くした上で決定、実践、発展させてゆくことです。

私事です。今夏は新型コロナウイルス感染症流行のため、家族会議の結果、郷里に帰らずオンライン帰省となりました。健康問題を抱える家族もいるためなんとも歯がゆい気持ちでした。皆様の中にも遠方のご家族にお会いしない方も多かったのではないのでしょうか。離れているご家族が不安にならないよう、安心して頂けるよう、私達の仕事をしっかり提供しなければならぬと改めて思った次第です。

『感謝と恩返し』



デュエット内科クリニック
院長 大和 康彦

11年前、私の人生に大きな影響を与える人格者に巡り会った。そう中根晴幸理事長だ。中根理事長と一緒に働きたい、少しでも役に立ちたいとの思いだけで、明医研に合流した。相手を思いやり、困った時に絶妙なタイミングで助けてくれて、一緒に解決方法を探ってくれて、師匠でもあり父のような偉大で心から尊敬できる先生であった。常に新しい知識を蓄えていくことに貪欲で、それを惜しみなく後輩に教えて頂いた。



中根理事長・中井院長と一緒に

人前で負の感情を出すこともなく、どこでストレスを発散させているのか陰ながら

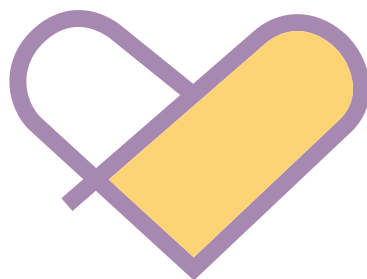
心配もした。そんな中根理事長もハーモニッククリニック院長を退かれ、次の世代へと継承していく。今までの感謝と寂しさの思いが交錯するが、理事長としての立場から、まだまだご指導いただけることが楽しみである。「施されたら施し返す、恩返しです。倍返し、いや十倍返しだ！」。

『Warm & Reliable』



ハーモニッククリニック
副院長 市川 聡子

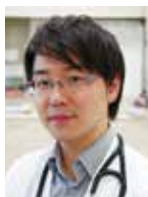
医療法人明医研は、創立25周年を迎えました。25年間の中で中根理事長は、医療者としての心構え、患者さんに対する思い、日常の診療で感じたことなどについて、多くの言葉を紡ぎ、私たちスタッフに「院是かるた」という五十音順の標語として伝えてきました。その中の一つでもあり、創設以来の理念でもある「Warm & Reliable」『温かく信頼にかなう』は、私たち明医研のロゴマークのハートの下にも書かれています。スタッフ一人一人が、中根理事長の思いを受け継ぎ、温かく信頼にかなう医療人として研鑽を重ねてまいります。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



WARM & RELIABLE

医療法人明医研ロゴマーク

『敬老の日』



医療法人 明医研
医局長 松林 洋志

「おじいちゃん、おばあちゃんに褒められると嬉しい！」と言う子供。何故、と問うと「それだけ沢山の人に会ったり色んな凄いことがあったはずなのに、ほー凄いな！って言われると、わー本当に凄いな！って思っで嬉しくなる！」

お年寄りの言葉の威力は、強い。未来ある子供達を輝かせる力がある。

敬老の日は、終戦から2年後、混乱と疲弊に喘ぐ日本において、兵庫県で始まったとさ

れています。村の再生ため、高齢者に敬意を表し、知識・経験を伝授してもらうための会を催したのが起源だそうです。改めて高齢者の言葉に耳を傾け、いや例え言葉が出なくとも内なる言葉に心を傾け、私達にかけがえない学びを与えてくれるその力に、敬意を表したいと思います。



『「嘘のようなホントの話」は
本当か。』



ハーモニッククリニック
医師 高橋 毅

新型コロナウイルス感染症の流行により、我々の生活にも様々なところで影響が出ていることと思います。そんな中、先日某知事による「嘘のようなホントの話です」発言をきっかけに、街のドラッグストアからイソジン®が売り切れるという出来事がありました。

今回の発表の根拠となった論文は、新型コロナウイルスの軽症患者41例を対象に、1日4回ヨード入りうがいをしたグループは、しなかった場合と比べて唾液内のウイルスが減少した。という府立病院から発表された論文でした。ただこの論文をもとに実使用を呼びかけるには問題点があることは、医療業界の間であれば容易にわかる内容でした。そもそもイソジン®のようなヨウ素系うがい薬でうがいに風邪予防効果がないことはすでに明らかにされています。(水道水でうがいは予防効果がありますが。)

知事の発言ともなれば、世論を巻き込んだ大騒動になることはわかっていたはずですが。ハーモニーだより前号の記事、フェイクニュースを見極める「だしりたまご」の「ま」まずは一旦保留しよう。ができなかったものでしょうか。

『陰性証明のためのPCR検査』



デュエット内科クリニック
医師 蘇原 映 碩

アメリカで事前にサマーキャンプの参加者全員にPCR検査を行い陰性を確認した後、キャンプで200人以上が集団感染

したというニュースがありました。

新型コロナウイルス感染のニュースでPCR検査に関する内容を目にする事も多いと思います。現状日本では①濃厚接触者ないし、感染リスクが高い接触歴がある場合と②感染を疑われる症状のある場合が保険適応となっています。

ただし実際には前記に該当しない多くの状況で陰性証明のための検査が行われています。キャンプのニュースから検査を行う意義を改めて考えたいものです。

『マスクの誤解と功德』



医療法人 明医研
内科 市川 家 國
特任医師

日本人がマスクについて誤解をしていることを知ったのは十数年前、米国ダラス空港から成田へ向けた満員のアメリカン航空機の中。当時はSARS流行の真っただ中。

乗客の半分は全員マスクの日本人。残りの半分は全員マスク無しのアメリカ人。私はそれまでの25年ほど米国の病院に勤務していただけに、日本人客のマスク姿は何とも不可解に映った。そもそも、マスクをしても鰻屋の前を通れば、蒲焼の臭いは筒抜け。だからマスクを通してウイルスを吸い込ま

ないわけではない。蒲焼の臭いが嫌なら距離をとるしかない。それが「密を避ける」ということだ。マスクの効用はクシヤミや咳でウイルスを乗せた飛沫が飛ぶ量を減らす点。しかし、誤解のおかげで、日本人のマスク率はこのコロナ禍で極めて高くなっている点は、ありがたい。一方、この誤解は「マスクに守られている」との根拠のない安心感を生んで、老若男女の区別なく外出への抵抗感を減弱させてしまっている点は大いに問題。

そもそも、他の国に例を見ない戦後の個人主義と称する自己中心教育のおかげで、20代、30代の若者はコロナに罹っても重症化しにくいと知れば、「医療がひっ迫」と言われようが何のその。3密などは一向に気にならない彼らを見て、大人たちは苦し紛れに「若い人も重症化する」と声高に言うが、空虚な感否めない。

思えば、彼らを育てたのも、将来に多額の借金を背負わせるのもわれわれ大人たち。反省しきり。

新入職員紹介

デュエット内科クリニック
秘書 科大和智子(やまと ともこ)
ケアメイト訪問看護ステーション
訪問看護師 武井恵理子(たけい えりこ)

『戦争体験』



医療法人 明医研
消化器内科
特任医師 木村 淑子

昨年9月に父が95歳で他界しました。父は先の大戦で召集され、中国大陆に渡り、船で揚子江を遡上中に機雷に接触して船が沈没、九死に一生を得たという逸話の持ち主でした。以前は、兵隊に行った経験を話して下さる患者さんがいたものです。ある人はシベリアに抑留され共産主義の教育も受けたがナホトカから帰還の船が出たときに全部捨ててきたと話してくれました。ある人は4回も召集されて何度も激戦をくりぬけた結果、戦友がいないと語りました。またある人の往診に行ったら、壁に美青年の写真があつて、昔の自分でガダルカナルにいたと教えてくれました。戦後75年、最近は聞く機会が減りました。

表紙写真紹介

- ① デュエット内科クリニックスタッフ一同
(改装後の待合室にて)
- ② ハーモニークリニック院長交代式
(中根理事長と中井院長)
- ③ 院長に就任した中井秀一先生
- ④ 看護学生実習受け入れ(れんけい訪問看護ステーション朝のミーティング)



医療法人 明医研



WARM & RELIABLE

SINCE 1995



医療法人明医研は8月7日に25周年を迎えました

各部門から

勤続20年職員表彰

『20年経って思うこと』



れんけい訪問看護ステーション
管理者 金久保 麻紀子

入職した時に、赤ちゃんだった娘が社会人になり長い時間が経ったことを感じます。信頼でき頼れるスタッフがどんどん増えて、胸を張って良い職場だと言えることがとても嬉しいです。外来の待合室で、昔訪問させてもらっていた患者さんのご家族から声をかけてもらうことが多くなり、とても励みになっています。再びご家族に訪問させてもらうこともあり、出会いと温かい繋がりに感謝しています。そして、20年経った今でも、変わらず情熱を注げる訪問看護の仕事が、やっぱり大好きです。

『勤続20年を迎えて』



れんけい訪問看護ステーション
事務 船木 エリ香

中根理事長をはじめ、皆さんのやさしさ、熱い情熱、職場の温かい雰囲気を支えられ、勤続20年を迎えることが出来ました。利用者に寄り添って、「どうしたら」と常に意見を交わしあっている看護師さんの姿を見る度に一緒に働けることをうれしく感じています。この20年に訪問看護の事、介護保険の事、様々な事を学ばせていただきました。これからも、知識を深め、少しでもお役に立てるように努めていきます。

『感謝、感謝の20年です』



ハーモニークリニック
外来看護師 門 平 恵理子

明医研に入職して20年です。入職してからの日々の事を何度となく振り返り思い出すと改めて色々な事があったなと思い、胸が熱くなりました。

私が20年続けて来られたのは、中根理事長はじめ明医研の職員の皆さん、そして、家族の存在が何より大きかったと感謝の気持ちでいっぱいです。

今後も向上心を失わず、私らしく、もう少しの間頑張って行こうと思っています。

勤続10年職員表彰

- デュエット内科クリニック
院長 大和 康彦
- デュエット内科クリニック
秘書科 濱出 志津子
- れんけい訪問看護ステーション
訪問看護師 主任 藤川 幸
- ハーモニークリニック
秘書科 科長 向井 佳矢子

明医研 ニュース

● 各健診について

令和2年度さいたま市特定健康診査・がん検診が始まっています。

(令和3年3月上旬まで)

今年度また受診されていない方は、お早めにクリニック受付にてお申し込みください。

また、企業健診については随時ご予約を承っております。お気軽に受付スタッフまでお声がけください。

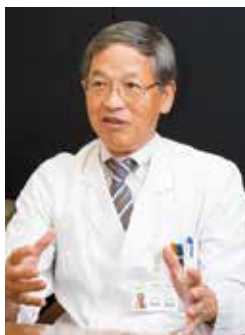
※ハーモニークリニックでは協会けんぽ生活習慣病予防健診も受診いただけます。

● 明医研の訪問看護ステーションでは、看護学生の実習を受け入れています。
(表紙④)

医療法人 明医研 ハーモニークリニック



ハーモニークリニック
中井秀一院長



医療法人明医研
中根晴幸理事長

医療法人明医研は8月7日で開設25周年を迎えました。このたび令和2年8月6日付をもちまして、ハーモニークリニックの中根晴幸院長が退任し、8月7日より新たに中井秀一先生がハーモニークリニック院長に就任しました。

なお、中根晴幸先生は引き続き医療法人明医研理事長として診療にあたります。

法人本部より

ハーモニークリニック院長に 中井秀一先生が就任しました

中井秀一院長より

「中根晴幸理事長が提唱した当法人の理念『WARM & RELIABLE（温かく信頼にかなう医療とケアの提供）』は、自分自身の医師としての信条にもなっています（左写真のとおり）。

これまでも医師には医学的な知識や技術だけでなく人間的な温かさ、礼節も必要だと思っていました。中根理事長はまさにそれを体現されている存在です。

私たちは、患者さんの物語を聞きながら解決に導いていく「ナラティブに基づく診療（NB M）」を大切に行っています。その理念をしっかりと継承し、そして時代の流れによるニーズの変化にも柔軟に対応しながら、今後も地域の皆さまが安心できるような医療を提供していきたいと思っています。」



医療法人明医研理念
院内に掲示しています

医療法人 明医研 デュエット内科クリニック



クリニック外観



新たな玄関、
広く明るくなった受付で
お待ちしております



デュエット内科クリニックの 増築工事の状況について

ハーモニー便り87号（2020年3月号）

でもお知らせの通りデュエット内科クリニックの建物について、2月より増築工事を行っています。このたび7月に一部工事が完了し新しい玄関・受付・待合室となりました。引き続き診療レイアウト工事などを行っています（9月末目途に工事継続中です）。

皆さんにとって少しでも過ごしやすい診療環境を整えて参ります。ぜひリニューアルの様子を見守っていただければ幸いです。

